WO2003104010A1

MicroPatent Report

FUEL CELL-EQUIPPED VEHICLE

[71] Applicant: TOYOTA MOTOR CO

LTD; KONDO TOSHIYUKI

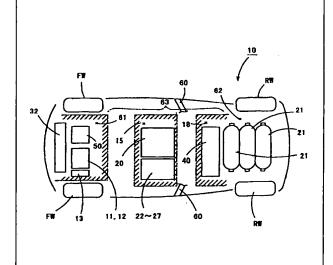
[72] Inventors: KONDO, Toshiyuki

[21] Application No.: WO2003JP3185A

[22] Filed: 20030317

[43] Published: 20031218

[30] Priority: JP JP2002168381A 20020610 ...



Go to Fulltext

[57] Abstract:

A fuel cell-equipped vehicle (10), wherein fuel cells (20) are collectively disposed in an area (15) under a front seat (14) and secondary cells (40) are collectively disposed in an area (18) under a rear seat (17), whereby since the fuel cells (20) and the secondary cells (40) are collectively disposed in the areas under the seats (14) and (17) separately from each other, the fuel cells (20) and the secondary cells (40) used in different use environments can be operated satisfactorily, and also the areas (15) and (18) under the seats (14) and (17) having much dead space can be effectively utilized to dispose the fuel cells (20) and the secondary cells (40) therein.

[52] US Class:

[51] Int'l Class: B60K0015063 B60K0017356 B60K000104 B60K001507

[52] ECLA: B60K000104 B60K0015063 B60K001507 B60K0017356



(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2003 年12 月18 日 (18.12.2003)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 03/104010 A1

(51) 国際特許分類7:

101

KAISHA) [JP/JP]; 〒471-8571 愛知県 豊田市 トヨタ町 1 番地 Aichi (JP).

(21) 国際出願番号:

B60K 1/04, 8/00 PCT/JP03/03185

(22) 国際出願日:

2003年3月17日(17.03.2003)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願2002-168381

2002年6月10日(10.06.2002) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): トヨ タ自動車株式会社 (TOYOTA JIDOSHA KABUSHIKI (72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 近藤 俊行 (KONDO,Toshiyuki) [JP/JP]; 〒471-8571 愛知県 豊田 市トヨタ町 1番地トヨタ自動車株式会社内 Aichi (JP).

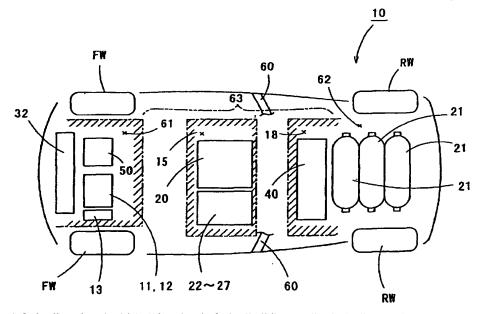
(74) 代理人:特許業務法人アイテック国際特許事務 所 (ITEC INTERNATIONAL PATENT FIRM); 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄二丁目 9番26号ポー ラ名古屋ビル内 Aichi (JP).

(81) 指定国 (国内): CN, JP, KR, US.

[毓葉有]

(54) Title: FUEL CELL-EQUIPPED VEHICLE

(54) 発明の名称: 燃料電池搭載車両



(57) Abstract: A fuel cell-equipped vehicle (10), wherein fuel cells (20) are collectively disposed in an area (15) under a front seat (14) and secondary cells (40) are collectively disposed in an area (18) under a rear seat (17), whereby since the fuel cells (20) and the secondary cells (40) are collectively disposed in the areas under the seats (14) and (17) separately from each other, the fuel cells (20) and the secondary cells (40) used in different use environments can be operated satisfactorily, and also the areas (15) and (18) under the seats (14) and (17) having much dead space can be effectively utilized to dispose the fuel cells (20) and the secondary cells (40) therein.

(57) 要約: 燃料電池搭載車両10では、フロントシート14の下方領域15に燃料電池20を集約して配置しリアシート17の下方領域18には二次電池40を集約して配置している。このように、燃料電池20と二次

/続葉有/

(84) 指定国 *(*広域): ヨーロッパ特許 (DE, ES, FR, GB, IT). 添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

明細書

燃料電池搭載車両

5 技術分野

本発明は、走行用モータと燃料電池と蓄電装置とを有する燃料電池搭載車両に関する。

背景技術

- 10 従来、燃料電池搭載車両としては、走行用モータと燃料電池と二次電池とを有すると共に乗員が着座可能なフロントシート及びリアシートを備えたものが知られている。例えば、特開2001-113960には、車両の床下に車体前後方向にわたって二次電池と燃料電池とを配置した燃料電池搭載車両が提案されている。
- 15 しかしながら、使用環境の異なる二次電池と燃料電池とが近接した状態で配置されるため、両電池を運転するうえで好ましいとは言い難かった。また、二次電池と燃料電池とを車両の床下に配置する場合、車両の床下には十分なスペースを取りにくいし、セダンやクーペなどの地上高の低い車両には適用しにくいという問題があった。
- 20 本発明は、このような課題に鑑みなされたものであり、使用環境の異なる蓄電装置と燃料電池を良好に運転することができる燃料電池搭載車両を提供することを目的の一つする。また、デッドスペースを有効に利用して蓄電装置と燃料電池を配置することができる燃料電池搭載車両を提供することを目的の一つとする。更に、地上高が低くても対処可能な25 燃料電池搭載車両を提供することを目的の一つとする。

発明の開示

本発明は、上述の目的の少なくとも一つを達成するために以下の手段を採用した。即ち、本発明は、走行用モータと燃料電池と蓄電装置とを有すると共に乗員が着座可能なフロントシート及びリアシートを備える 燃料電池搭載車両であって、

前記燃料電池は、前記フロントシート及び前記リアシートのいずれか 一方の下方領域に集約して配置され、

前記蓄電装置は、前記フロントシート及び前記リアシートのいずれか 他方の下方領域に集約して配置されている

10 ものである。

25

この燃料電池搭載車両では、フロントシートの下方領域とリアシートの下方領域の両方に燃料電池を配置したりフロントシートの下方領域とリアシートの下方領域の両方に蓄電装置を配置したりするのではなく、フロントシートの下方領域には燃料電池を集約して配置しリアシートの下方領域には蓄電装置を集約して配置しフロントシートの下方領域には蓄電装置を集約して配置しフロントシートの下方領域には蓄電装置を集約して配置する。このように、燃料電池と蓄電装置とが各シートの下方領域に分離して集約配置されるため、使用環境の異なる燃料電池と蓄電装置を良好に運転することができる。また、デッドスペースの多いシートの下方領域を有効利用できる。

ここで、「フロントシート」とは車両前側のシート、「リアシート」とは車両後側のシートを意味し、例えば車両前後方向に三列のシートが存在する場合、最前列のシートをフロントシートとすると中列又は最後列のシートがリアシートとなり、中列のシートをフロントシートとすると最後列のシートがリアシートとなる。また、「走行用モータ」は、燃料電池及び蓄電装置の両方を駆動源としてもよいが、燃料電池及び蓄電

装置のいずれか一方を駆動源としてもよい。更に、「蓄電装置」とは、 充放電が可能な蓄電装置であれば特にどのような装置であってもよく、 例えば二次電池であってもよいしキャパシタであってもよい。

本発明の燃料電池搭載車両において、前記燃料電池及び前記蓄電装置 に関わる機器類は、前記フロントシートの下方領域、前記リアシートの 下方領域、前輪近傍の車両前方室及び後輪近傍の車両後方室のいずれか に配置されていてもよく、これら機器類はひとまとまりに配置されていてもよいし、分散して配置されていてもよい。こうすれば、燃料電池及 び蓄電装置に関わる機器類についても、デッドスペースの多いシートの 下方領域を有効利用したり、比較的スペースに余裕のある車両前方室や 車両後方室を有効利用したりすることができる。

ここで、「前記燃料電池及び前記蓄電装置に関わる機器類」とは、例 えば、燃料電池及び蓄電装置の少なくとも一方を駆動源とする走行用モータ、走行用モータの駆動力制御を行う制御ユニット、燃料電池を作動 するための各種補機(例えば燃料ガス供給装置、酸化ガス供給装置、冷 却装置等)などが挙げられる。

本発明の燃料電池搭載車両において、前記各シートの下方領域は、乗 員のフットスペースと干渉しない領域としてもよい。こうすれば、乗員 の足元周りの居住性を損なうことがない。

本発明の燃料電池搭載車両において、前記フロントシートの下方領域は、前記フロントシートの下方であって前記フロントシートに乗員が着座したときの膝関節位置を含む仮想垂直面と前記フロントシートのシートバックの下端を含む仮想垂直面とで囲まれた領域であり、前記リアシートの下方領域は、前記リアシートの下方であって前記リアシートに乗り着座したときの膝関節位置を含む仮想垂直面よりも後方の領域としてもよい。こうすれば、フロントシートに着座した乗員はフロントシー

10

*1

トの下方領域に配置された電池によって足元周りの居住性が損なわれる ことはなく、また、リアシートに着座した乗員はフロントシートの下方 領域に配置された電池によってもリアシートの下方領域に配置された電 池によっても足元周りの居住性が損なわれることがない。なお、リアシ 5 ートが最後列シートの場合にはリアシートの下方領域の後側境界を特に 決める必要はないが、リアシートが最後列シートでない場合(例えば中 列シートの場合)には最後列シートに着座する乗員の足元周りを考慮し てリアシートの下方領域の後側境界をリアシートのシートバックの下端 を含む仮想垂直面とすることが好ましい。

本発明の燃料電池搭載車両において、前記燃料電池の補機類の少なく とも一部は、前記燃料電池が配置されているシートの下方領域に配置さ れていてもよい。こうすれば、燃料電池と燃料電池の補機類の一部又は 全部とは同じシートの下方領域に配置されるため、別の場所に配置され る場合に比べてガス配管等の引き回しを簡素化することができる。この とき、前記燃料電池の補機類の少なくとも一部は、前記燃料電池が配置 されているシートの下方領域にて前記燃料電池と車両幅方向に並んで配 置されていてもよい。こうすれば、一般に各シートの下方領域は車両前 後方向よりも車両幅方向に長いため、燃料電池とその補機類の一部又は 全部とをシートの下方領域に収納しやすい。また、本発明の燃料電池搭 20 載車両において、前記燃料電池の補機類の少なくとも一部は、センタト ンネルの内部に配置されていてもよい。こうすれば、センタトンネルが 既に存在している場合にはそのセンタトンネルの内部を有効利用して補 機類を配置するため、乗員の居住スペースを損なうことがない。

ここで、「燃料電池の補機類」とは、燃料電池の作動に必要な機器類 25 をいい、例えば燃料電池に酸化ガスを供給する酸化ガス供給装置や、燃 料電池に燃料ガスを供給する燃料ガス供給装置や、燃料ガスを加湿して

5

燃料電池に供給する加湿器や、燃料電池に供給する燃料ガスの圧力や流量を調節するマスフロコントローラや、燃料電池から未反応のまま排出された燃料ガスを再び燃料電池に供給する燃料ガス循環ポンプや、燃料電池を冷却するために燃料電池に冷却水を循環させるウォータポンプな どが挙げられる。

本発明の燃料電池搭載車両において、前記フロントシートの下方領域 と前記リアシートの下方領域との間には、センタピラーが立設されてい てもよい。こうすれば、側面衝突時にセンタピラーがその荷重を受ける ため、燃料電池や蓄電装置がセンタピラーによって保護される。

10 本発明は、走行用モータと燃料電池と蓄電装置とを有する燃料電池搭 載車両であって、車両前後方向の前から前記走行用モータ、前記燃料電 池、前記蓄電装置の順に配置されているものであってもよい。こうすれ ば、車両前後方向の前から走行用モータ、蓄電池、燃料電池の順に配置 されている場合に比べて、走行用モータと燃料電池とを接続する比較的 15 径の太い配線の長さを短くすることができ、ひいては装置全体の構成を コンパクト化できる。

本発明は、走行用モータと燃料電池と蓄電装置とを有する燃料電池搭 載車両であって、車両前後方向の前から前記燃料電池の冷却装置、前記 燃料電池、前記蓄電装置の順に配置されているものであってもよい。こ うすれば、車両前後方向の前から燃料電池の冷却装置、二次電池、燃料 電池の順に配置されているものに比べて燃料電池とその冷却装置との距 離が短くなるため、構成をコンパクトにすることができる。

20

本発明の燃料電池搭載車両において、前記走行用モータは、前輪近傍 の車両前方室内に配置され、前記燃料電池に燃料ガスを供給する燃料ガ る ス供給源は、後輪近傍の車両後方室内に配置されていてもよい。こうす れば、車両前後方向の重量配分を適正化することができる。このとき、 前記燃料電池及び前記蓄電装置からの電力を制御することにより走行用 モータの出力を制御する制御ユニットは、前記走行用モータと共に前輪 近傍の車両前方室内に配置されていてもよい。こうすれば、車両前後方 向の重量配分をより適正化することができる。なお、燃料ガス供給源は、 水素タンク(水素ボンベや水素吸蔵合金など)であってもよいし、炭化 水素系燃料と水との反応により水素リッチなガスを生成する改質器であ ってもよい。

本発明の燃料電池搭載車両において、前記燃料電池の少なくとも一部は、車両床のレベル面よりも上方に配置されていてもよい。こうすれば、10 燃料電池の全体を車両床のレベル面よりも下方に配置する場合に比べて、車両の最低地上高さを確保しやすい。なお、「車両床のレベル面」とは、運転席に着座した乗員が運転するときの踵と接する点を含む水平面をいう。

本発明の燃料電池搭載車両において、前記蓄電装置の少なくとも一部 15 は、車両床のレベル面よりも上方に配置されていてもよい。こうすれば、 蓄電装置の全体を車両床のレベル面よりも下方に配置する場合に比べて、 車両の最低地上高さを確保しやすい。

本発明の燃料電池搭載車両において、前記燃料電池は、車両客室外 (車両前方室、車両後方室又は車両床下)に配置されていてもよいが、 20 車両客室内(車両床上)に配置されていてもよい。また、前記蓄電装置

図面の簡単な説明

についても同様である。

図1は本実施形態の燃料電池搭載車両の平面図、図2は本実施形態の 5 燃料電池搭載車両の概略断面図、図3は本実施形態の燃料電池搭載車両 のブロック図である。 発明を実施するための最良の形態

本発明を一層明らかにするために、本発明の好適な実施形態について 図面を参照しながら以下に説明する。図1は本実施形態の燃料電池搭載 5 車両の平面図、図2は燃料電池搭載車両の概略断面図、図3は燃料電池 搭載車両のプロック図である。

本実施形態の燃料電池搭載車両10は、シャシフレームとボディとが 一体に作られたモノコック構造であり、主として走行用モータ11、フロントシート14、リアシート17、燃料電池20、二次電池40、パワーコントロールユニット(以下PCUという)50を備えている。なお、モノコック構造を採用する代わりにフレーム構造を採用してもよい。

走行用モータ11は、三相同期モータであり、前輪FWの近傍つまり 乗員室63とはダッシュパネルにより区切られた車両前方室61にイン バータ12と共に配置されている。この走行用モータ11には、図3に 示すように、燃料電池20や二次電池40の出力する直流電流が分配器 27を経たあとインバータ12によって三相交流に変換されて供給され る。走行用モータ11はこのような電力の供給を受けて回転駆動力を発 生し、この回転駆動力はデファレンシャルギヤ44を介して前輪FWの 車軸46に伝えられ、燃料電池搭載車両10を走行させる動力となる。

20 フロントシート14は、乗員室63内に設置された二列のシートのうちの前列のシートであり、運転席と助手席とからなる。また、リアシート17は、これら二列のシートのうちの後列のシートであり、いわゆるベンチシートである。燃料電池搭載車両10の左側面及び右側面には、フロントシート14とリアシート17との間にセンタピラー60,60
25 が立設されている。

燃料電池20は、周知の固体高分子電解質型の燃料電池であり、構成

単位である単セルを複数積層したスタック構造を有している。燃料電池 20を構成する各単セルでは、図3に示すように、水素タンク21から 水素ガス(燃料ガス)がマスフロコントローラ22で圧力・流量が調節 されたあと加湿器23により加湿されてアノードに供給され、エアコン プレッサ13から圧力が調節された圧縮空気(酸化ガス)がカソードに 供給され、所定の電気化学反応が進行することにより起電力が生じる。 即ち、アノードでは水素がプロトンと電子とに分離し、アノードで分離 したプロトンが固体高分子電解質膜を伝導してカソードに達すると共に 同じくアノードで分離した電子が負荷を介して接続された電線を通って 10 カソードに達し、カソードでは酸素がプロトンと電子と結合して水が生 成する、という電気化学反応が進行することにより、起電力が生じる。

この燃料電池20は、図2に示すように、フロントシート14の下方 領域15に集約して配置されている。この下方領域15は、具体的には フロントシート14の下方であってフロントシート14に乗員が着座し 15 たときの膝関節位置 1 6 を含む仮想垂直面 1 5 a とフロントシート 1 4 のシートバックの下端を含む仮想垂直面15bとで囲まれた領域である。 また、この燃料電池20の一部は、フロントシート14の運転席に着座 した乗員が運転するときの踵と接する点を含む水平面(以下、車両床の レベル面FLという)よりも下方に配置され、残りは、車両床のレベル 面FLよりも上方に配置されている。本実施形態では燃料電池20の半 分以上が車両床のレベル面FLよりも上方に配置されている。ここでは、 図2に示すように、車両床をフロントシート14の下方領域でレベル面 FLよりも盛り上がった形状とし、その盛り上がった部分の内側に燃料 電池20を配置することにより、燃料電池20の一部をレベル面FLよ りも下方に配置し残りをレベル面FLよりも上方に配置している。但し、 車両床をフロントシート14の下方領域でレベル面FLよりも凹んだ形

25

9

状とし、その凹んだ部分に燃料電池20を配置することにより、燃料電池20の一部をレベル面FLよりも下方に配置し残りをレベル面FLよりも上方に配置してもよい。この場合には燃料電池20は車両床の上側つまり車両客室に配置される。なお、膝関節位置16はフロントシート14に三次元マネキン(成人男子)を着座させて決めてもよい。

燃料電池20の補機類30は、既述のエアコンプレッサ13や、既述の水素タンク21や、既述のマスフロコントローラ22や、既述の加湿器23や、燃料電池20及び二次電池40からの出力電圧を所定の電圧まで降下させるDC/DCコンバータ24や、燃料電池20から未反応のまま排出された水素ガスを再び燃料電池20に供給する水素ガス循環ポンプ25や、燃料電池20を冷却するために燃料電池20に冷却水を循環させるウォータポンプ26や、燃料電池20及び二次電池40の出力を分配する分配器27や、ウォータポンプ26によって燃料電池20に循環させる液体冷媒(冷却水)を放熱させる放熱器32などである。なお、分配器27は、補機類30及び走行用モータ11への電力供給を燃料電池20及び二次電池40のいずれか一方又は両方で行ったり燃料電池20による二次電池40の充電を行ったりするためのスイッチング回路である。

これら補機類30には、燃料電池20及び二次電池40からの電力が 20 分配器27を経たあとDC/DCコンパータ24により所定の電圧に降 下されて供給される。これら補機類30のうち、エアコンプレッサ13 及び放熱器32は前輪FWの近傍の車両前方室61に配置され、複数の 水素タンク21は後輪FRの近傍の車両後方室62に配置されているが、 マスフロコントローラ22や加湿器23やDC/DCコンパータ24や 25 水素ガス循環ポンプ25やウォータポンプ26や分配器27は、燃料電 池20が配置されているフロントシート14の下方領域15にて燃料電 10

池20の左側(車両進行方向に向かって左側)に並んで配置されている。 二次電池40は、周知のニッケル水素二次電池を複数個直列に接続し た構造を有している。この二次電池40は、PCU50の制御によって、 車両の始動時に走行用モータ11を駆動したり、減速回生時に回生電力 5 を回収したり、加速時に走行用モータ11をアシストしたり、負荷に応 じて燃料電池20によって充電されたりする。なお、この二次電池40 は充放電可能な電池であればよく、ニッケル水素二次電池に限らず例え ばニッカド二次電池やリチウム水素二次電池や鉛蓄電池などであっても よい。あるいはキャパシタであってもよい。

この二次電池40は、リアシート17の下方領域18に集約して配置 されている。この下方領域18は、具体的にはリアシート17の下方で あってリアシート17に乗員が着座したときの膝関節位置19を含む仮 想垂直面18aよりも後方の領域である。また、この二次電池40の一 部は、車両床のレベル面FLよりも下方に配置され、残りは、車両床の 15 レベル面FLよりも上方に配置されている。本実施形態では二次電池 4 0の半分以上が車両床のレベル面FLよりも上方に配置されている。こ こでは、図2に示すように、車両床をリアシート17の下方領域でレベ ル面FLよりも盛り上がった形状とし、その盛り上がった部分の内側に 二次電池40を配置することにより、二次電池40の一部をレベル面F 20 Lよりも下方に配置し残りをレベル面FLよりも上方に配置している。 但し、車両床をリアシート17の下方領域でレベル面FLよりも凹んだ 形状とし、その凹んだ部分に二次電池40を配置することにより、二次 電池40の一部をレベル面FLよりも下方に配置し残りをレベル面FL よりも上方に配置してもよい。この場合には二次電池40は車両床の上 側つまり車両客室に配置される。なお、膝関節位置19はリアシート1 7に三次元マネキン(成人男子)を着座させて決めてもよい。また、本

実施形態ではリアシート17の下方領域18の後側と車両後方室62と がオーバーラップしているが、リアシート17の下方領域18をリアシ ート17の下方であって仮想垂直面18aとリアシート17のシートバ ックの下端を含む仮想垂直面とで囲まれた領域とし、その後ろ側を車両 5後方室62としてもよい。

PCU50は、走行用モータ11の駆動力を制御するものであり、マイクロコンピュータを中心とした論理回路として構成され、図示しないが周知のCPU、ROM、RAM及び入出力ポートから構成されている。このPCU50は、アクセルペダルセンサのペダル位置やインバータ12の出力電流/出力電圧や二次電池40の残留容量値や図示しない各種センサの検出値を入力し、入力した各値に基づいて、マスフロコントローラ22及びエアコンプレッサ13に供給ガス量を制御するための制御信号を出力したりインバータ12や分配器27への制御信号を出力したりする。

- 5 ここで、燃料電池20の使用温度は80℃前後であるのに対して、二 次電池40の使用温度は60℃以下である。また、燃料電池20は液冷 (例えば水冷)であるのに対して、二次電池40は液冷ではなく空冷す る。このように、燃料電池20と二次電池40とでは使用温度や冷却方 法等の使用環境が異なる。
- 20 以上のように構成された本実施形態の燃料電池搭載車両10では、各シート14,17の下方領域15,18の両方に燃料電池20を配置したり、各シート14,17の下方領域15,18の両方に二次電池40を配置したりするのではなく、フロントシート14の下方領域15には燃料電池20を集約して配置しリアシート17の下方領域18には二次電池40を集約して配置している。このように、燃料電池20と二次電池40とが各シート14,17の下方領域15,18に分離して集約配

置されるため、使用環境の異なる燃料電池20と二次電池40を良好に 運転することができる。また、燃料電池20、二次電池40及びこれら に関わる機器類を配置するスペースとして、デッドスペースの多い各シ ート14,17の下方領域15,18を有効利用できる。

12

5 また、フロントシート14に着座した乗員はフロントシート14の下方領域15に配置された燃料電池20等によって足元周りの居住性が損なわれることはなく、リアシート17に着座した乗員はフロントシート14の下方領域15に配置された燃料電池20等によってもリアシート17の下方領域18に配置された二次電池40によっても足元周りの居住性が損なわれることがない。つまり、フロントシート14の下方領域15及びリアシート17の下方領域18は、いずれも乗員のフットスペースと干渉しない領域であるため、乗員の足元周りの居住性を損なうことがない。

更に、走行用モータ11及びPCU50は車両前方室61に配置され、 15 燃料電池20に水素ガスを供給する水素タンク21は車両後方室52に 配置されているため、車両前後方向の重量配分を適正化することができ る。本実施形態の燃料電池搭載車両10は前輪駆動車であるため、回生 電力を効率よく回収する等の観点から、車両後方よりも車両前方がやや 重くなるように配置されている。

20 更にまた、燃料電池20の補機類30の一部(マスフロコントローラ 22,加湿器23,DC/DCコンバータ24,水素ガス循環ポンプ2 5,ウォータポンプ26,分配器27)は、燃料電池20が配置されているフロントシート14の下方領域15に配置されているため、これらが別の場所に配置されている場合に比べてガス配管等の引き回しを簡素 25 化することができる。また、これらはフロントシート14の下方領域15にて燃料電池20と車両前後方向よりも長い車両幅方向に並んで配置

20

されているため、燃料電池20と共にフロントシート14の下方領域1 5に収納しやすい。

そして、本実施形態では、車両前後方向の前から放熱器32、燃料電池20、二次電池40の順に配置されているため、放熱器32、二次電5池40、燃料電池20の順に配置されているものに比べて燃料電池20と放熱器32との距離が短くなり、構成をコンパクトにすることができる。

そしてまた、本実施形態では、車両前後方向の前から走行用モータ11、燃料電池20、二次電池40の順に配置されているため、走行用モロタ11、二次電池40、燃料電池20の順に配置されている場合に比べて、走行用モータ11と燃料電池20とを接続する比較的太い径の配線の長さを短くすることができ、ひいては装置全体の構成をコンパクト化できる。

そして更に、燃料電池20及び二次電池40の半分以上は車両床のレ が加面FLよりも上方に配置されているため、燃料電池20及び二次電 池40の全体を車両床のレベル面FLよりも下方に配置する場合に比べ て、車両の最低地上高さを確保しやすい。

そして更にまた、側面衝突時には、燃料電池搭載車両10の左右側面 のうちフロントシート14の下方領域15とリアシート17の下方領域 18との間に立設されたセンタピラー60,60がその荷重を受けるた め、燃料電池20や二次電池40がセンタピラー60,60によって保 護される。

なお、本発明は上述した実施形態に何ら限定されることはなく、本発明の技術的範囲に属する限り種々の態様で実施し得ることはいうまでも 25 ない。

例えば、上述した実施形態では、乗員室63の車両前後方向に二列の

٠,

WO 03/104010 PCT/JP03/03185

14

シートを設けたが、三列以上のシートを設けてもよい。例えば三列のシートを設けた場合、最前列のシートをフロントシートとすると中列又は最後列のシートがリアシートとなり、中列のシートをフロントシートとすると最後列のシートがリアシートとなる。ここで、リアシートが最後 列シートの場合にはリアシートの下方領域の後側境界を特に決める必要はないが、リアシートが最後列シートでない場合(例えば中列シートの場合)には最後列シートに着座する乗員の足元周りを考慮してリアシートの下方領域の後側境界をリアシートのシートバックの下端を含む仮想垂直面とすることが好ましい。

- 10 また、上述した実施形態では、燃料電池20に水素ガス(燃料ガス)を供給する供給源として水素タンク21を用いたが、水素タンク21に代えて水素吸蔵合金を用いてもよいし炭化水素系燃料(例えばガソリンやメタノールなど)と水との反応により水素リッチなガスを生成する改質器を用いてもよい。
- 15 更に、上述した実施形態では、前輪駆動車を例示したため車両床のレベル面FLから盛り上がった中空形状のセンタトンネルを有していなかったが、センタトンネルを有する車両については、燃料電池20の補機類30の少なくとも一部をこのセンタトンネルの内部に配置してもよい。こうすれば、既に存在しているセンタトンネルの内部を有効利用して補20 機類を配置するため、乗員の居住スペースを損なうことがない。

更にまた、上述した実施形態では、燃料電池20等をフロントシート 14の下方領域15に配置し、二次電池40をリアシート17の下方領域18に配置したが、燃料電池20等をリアシート17の下方領域18 に配置し、二次電池40をフロントシート14の下方領域15に配置し てもよい。

そしてまた、上述した実施形態では、補機類30の一部(エアコンプ

レッサ13や水素タンク21)を車両前方室61や車両後方室62に分散して配置したが、これらもフロントシート14の下方領域15又はリアシート17の下方領域18に配置してもよい。

そして更に、上述した実施形態では、燃料電池20及び二次電池40 の両方を走行用モータ11の駆動源として利用可能な構成を採用したが (制御上は、燃料電池20及び二次電池40の両方で走行用モータ11 を駆動する場合や、燃料電池20及び二次電池40のいずれか一方のみで走行用モータ11を駆動する場合も含む)、燃料電池20及び二次電池40のいずれか一方のみを走行用モータ11の駆動源として利用可能 な構成を採用してもよく、例えば、一方の電池を走行用モータ11の駆動源として利用可能な構成とし他方の電池を別の機器(例えば補機類)の電源として利用可能な構成としてもよい。あるいは、両電池20,40以外に走行用モータ11の駆動源を有しており、両電池20,40以外に走行用モータ11の駆動源を有しており、両電池20,40の一方又は両方はその駆動源を補助する役割を果たすようにしてもよい。 このように、走行用モータ11は、燃料電池20及び二次電池40の少なくとも一方を駆動源として利用可能なように構成されていればよい。

産業上の利用の可能性

本発明は、自動車産業に利用することができる。

請求の範囲

1. 走行用モータと燃料電池と蓄電装置とを有すると共に乗員が着座可能なフロントシート及びリアシートを備える燃料電池搭載車両であって、前記燃料電池は、前記フロントシート及び前記リアシートのいずれか

5 一方の下方領域に集約して配置され、

前記蓄電装置は、前記フロントシート及び前記リアシートのいずれか 他方の下方領域に集約して配置されている

燃料電池搭載車両。

2. 前記燃料電池及び前記蓄電装置に関わる機器類は、前記フロントシ 10 ートの下方領域、前記リアシートの下方領域、前輪近傍の車両前方室及 び後輪近傍の車両後方室のいずれかに配置されている

請求項1記載の燃料電池搭載車両。

- 3. 前記各シートの下方領域は、乗員のフットスペースと干渉しない領域である
- 15 請求項1又は2記載の燃料電池搭載車両。
- 4. 前記フロントシートの下方領域は、前記フロントシートの下方であって前記フロントシートに乗員が着座したときの膝関節位置を含む仮想垂直面と前記フロントシートのシートバックの下端を含む仮想垂直面とで囲まれた領域であり、前記リアシートの下方領域は、前記リアシートの下方であって前記リアシートに乗員が着座したときの膝関節位置を含む仮想垂直面よりも後方の領域である

請求項1~3のいずれかに記載の燃料電池搭載車両。

- 5. 前記燃料電池の補機類の少なくとも一部は、前記燃料電池が配置されているシートの下方領域に配置されている
- 25 請求項1~4のいずれかに記載の燃料電池車両。
 - 6. 前記燃料電池の補機類の少なくとも一部は、前記燃料電池が配置さ

れているシートの下方領域にて前記燃料電池と車両幅方向に並んで配置されている

請求項5記載の燃料電池車両。

7. 前記燃料電池の補機の少なくとも一部は、センタトンネルの内部に 配置されている

請求項1~6のいずれかに記載の燃料電池車両。

8. 前記フロントシートの下方領域と前記リアシートの下方領域との間には、センタピラーが立設されている

請求項1~7のいずれかに記載の燃料電池車両。

10 9. 走行用モータと燃料電池と蓄電装置とを有する燃料電池搭載車両であって、

車両前後方向の前から前記走行用モータ、前記燃料電池、前記蓄電装置の順に配置されている

燃料電池搭載車両。

15 10. 走行用モータと燃料電池と蓄電装置とを有する燃料電池搭載車両であって、

車両前後方向の前から前記燃料電池の冷却装置、前記燃料電池、前記 蓄電装置の順に配置されている

燃料電池搭載車両。

20 11. 前記燃料電池及び前記蓄電装置の少なくとも一方は車両客室内に 配置されている

請求項1~10のいずれかに記載の燃料電池搭載車両。

12. 前記走行用モータは、前輪近傍の車両前方室内に配置され、

前記燃料電池に燃料ガスを供給する燃料ガス供給源は、後輪近傍の車

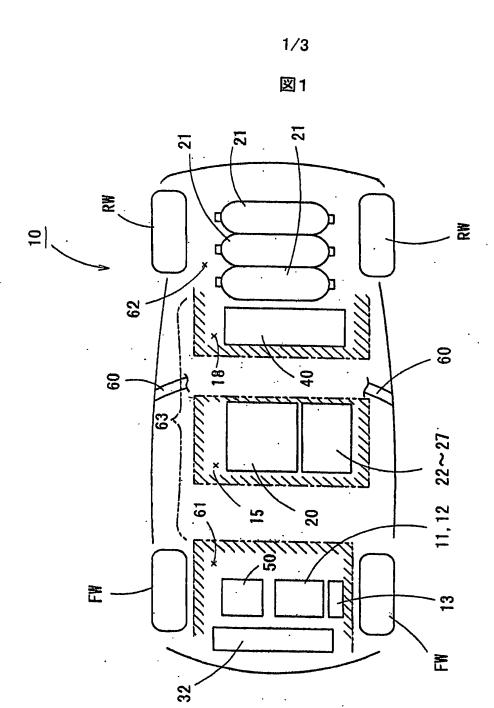
25 両後方室内に配置されている

請求項1~11のいずれかに記載の燃料電池搭載車両。

- 13. 前記燃料電池及び前記蓄電装置からの電力を制御することにより前記走行用モータの出力を制御する制御ユニットを備え、該制御ユニットは前記走行用モータと共に前輪近傍の車両前方室内に配置されている
- 5 請求項12記載の燃料電池搭載車両。
 - 14. 前記燃料ガス供給源は、水素タンクである 請求項12又は13記載の燃料電池搭載車両。
 - 15. 前記燃料電池の少なくとも一部は、車両床のレベル面よりも上方に配置されている
- 10 請求項1~14のいずれかに記載の燃料電池車両。
 - 16. 前記蓄電装置の少なくとも一部は、車両床のレベル面よりも上方に配置されている

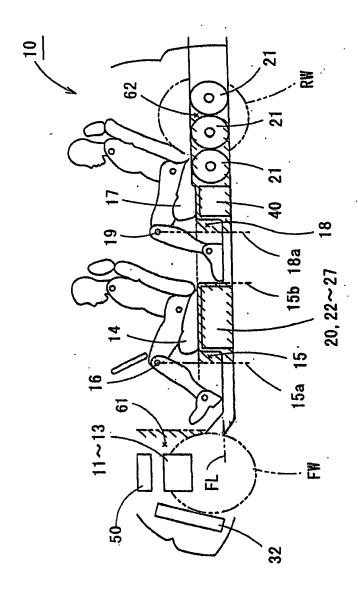
請求項1~15のいずれかに記載の燃料電池車両。

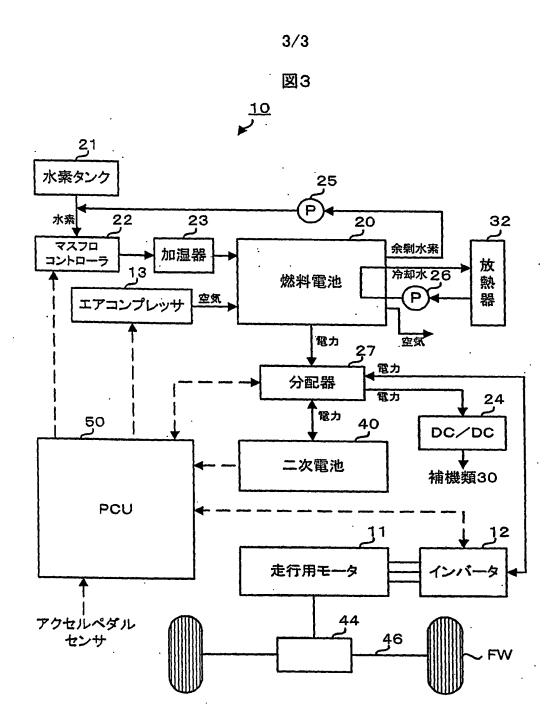
- 17. 前記蓄電装置は二次電池又はキャパシタである
- 15 請求項1~16のいずれかに記載の燃料電池車両。



2/3

図2





INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No. PCT/JP03/03185

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER					
Int.Cl ⁷ B60K1/04, B60K8/00					
·					
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC					
B. FIELDS	B. FIELDS SEARCHED				
	ocumentation searched (classification system followed by	by classification symbols)			
Int.	Cl ⁷ B60K1/04, B60K8/00				
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched					
Jitsuyo Shinan Koho 1926—1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994—2003 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971—2003 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996—2003					
		-			
Electronic d	ata base consulted during the international search (name	e of data base and, where practicable, sea	ren terms usea)		
	·				
C DOCU	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT				
			Delevent to alaim No		
Category*	Citation of document, with indication, where ap		Relevant to claim No.		
E,A	JP 2003-123822 A (Hitachi, L	td.),	1-17		
	25 April, 2003 (25.04.03), Page 6; columns 9 to 10; Par.	Nos. [0056], [0057]			
	(Family: none)	Nob. (occos), [coc.]			
	· ·				
A	JP 9-272344 A (Toyota Motor	Corp.),	1-17		
	21 October, 1997 (21.10.97), Page 2, column 2 to page 3, c	olumn 3: Par. No.			
	[0012]	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
	(Family: none)				
,	JP 2001-113960 A (Honda Moto	~ Co I+d)	1-17		
A	24 April, 2001 (24.04.01),	1 co., hca.,,	± 1,		
	Full text				
	(Family: none)	·			
		·			
Furth	er documents are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.			
* Special categories of cited documents: "A" later document published after the international filing date of the art which is not priority date and not in conflict with the application but cite			he application but cited to		
conside	considered to be of particular relevance understand the principle or theory underlying the invention				
date considered novel or cannot be considered to involve an inventive			ered to involve an inventive		
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is step when the document is taken alone cited to establish the publication date of another citation or other "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be			claimed invention cannot be		
special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other combined with one or more other such documents, such					
means combination being obvious to a person skilled in the art			n skilled in the art		
than the priority date claimed					
Date of the actual completion of the international search 17 June, 2003 (17.06.03) Date of mailing of the international search report 01 July, 2003 (01.07.03)					
T./ J	une, 2003 (17.06.03)	O1 Guly, 2003 (U1.0	,,,,,,		
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office		Authorized officer			
Facsimile N	o	Telephone No.	`		

	属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Cl. ⁷ B60K 1/04, B60K	8/00		
B. 調査を行った分野				
調査を行った最	B60K 1/04, B60K	X 8/00		
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1926-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2003年 日本国登録実用新案公報 1994-2003年 日本国実用新案登録公報 1996-2003年				
国際調査で使用	用した電子データベース (データベースの名称、	調査に使用した用語)		
			•	
	·	•		
	- 1 077.1 h 1 w 14.00h			
C. 関連する 引用文献の	ると認められる文献	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	関連する	
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	ときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号	
EA	JP 2003-123822 A (** 3.04.25第6頁,第9-10** 7】段落(ファミリーなし)	闌, 【0056】及び【005	1-17	
A	JP 9-272344 A (トヨタ目 10.21第2頁,第2欄,一第3頁 (ファミリーなし)	頁,第3欄,【0012】段落	1-17	
A	JP 2001-113960 A (ス 01.04.24全文 (ファミリーな		1-17	
		• -		
C欄の続きにも文献が列挙されている。				
「A」特に関い もの 「E」国際出版 以後を 「L」優先権 日若しく 文献(5)	のカテゴリー 車のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 質日前の出願または特許であるが、国際出願日 公表されたもの 主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 くは他の特別な理由を確立するために引用する 里由を付す) よる開示、使用、展示等に言及する文献 質日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了	了した日 17.06.03	国際調査報告の発送日 01.0	7.03	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP)		特許庁審査官(権限のある職員) 小山 卓志	3D 9253	
郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目4番3号		電話番号 03-3581-1101	-	